

組織拡大戦略委員会

委員長 市川 京平

「危機感を高め、若手経済人との新たな繋がりを求めるための変革を作り上げる」

数年前から懸念されてきた会員減少が顕著に表れ始めました。柏崎刈羽地域の人口減少も一つの要因かもしれませんが、それを肯定してしまえば一般社団法人柏崎青年会議所(以下、本会議所)はもとより、地域全体が衰退してまいります。本会議所にも時代の流れの波が押し寄せてきているように感じます。

伝統を重んじることも大事ですが、現状それだけで打破できないのも事実です。根本から見直していかなければ新しい世代に繋げていくこともできません。これまでの功績を伝えるとともに、今の本会議所の現状を伝えなければなりません。仲間と自己研鑽を積んでいる姿や柏崎刈羽地域のために活動している姿を今後、柏崎刈羽地域を担っていく若手経済人に伝達していくことが重要と考えます。

また、SNS の普及により本会議所を広めやすくなりましたが、それと共に今まで以上に会員として危機感を持って行動していかなければなりません。一社会人として常に周りで見られているという意識を持つことは当たり前かもしれませんが、当たりのことを当たり前に行える人はほんの一握りです。自分もしくは自社での危機感を周りと共有する場として本会議所を活用することも一つの手だと思います。そのために本会議所としては縦の繋がりだけではなく、横の繋がりを増やしていく場として柏崎刈羽地域の若手経済人が気軽に参加、見学できる機会の提供、そして一步を踏み出せるような設えを模索します。

当委員会では、現状に危機感を持ち会員数の維持、拡大をどうすれば次の世代に繋げられるのか話し合い、実践していきます。また、今後の本会議所の在り方や地域の皆様、若手経済人へどのようにアプローチしていくかを会員全体で共有します。卒業生やシニアクラブの先輩方にも、本会議所の現状を理解していただき会員候補者の情報や各先輩方の会社での若手経済人の推薦等を指導いただきたいと考えます。見識がある人の意見はもちろんのこと、会員歴が浅いメンバー、年代が若いメンバーの意見を積極的に取り入れ、今後の本会議所が進む未来を提示します。

・担当例会(2月)

来賓の皆様へ2024年度の決意を伝えるとともに、日頃の感謝と敬意を持っておもてなしします。

・担当例会(8月)

理事未経験者を含めたメンバーを巻き込み、例会内で疑似理事会を開催し、今後の拡大戦略について協議する例会を執り行います。

・担当例会(11月)

卒業生の功績を振り返り、感謝の気持ちを持ってお送りします。

・職業講話(通年)

市内学校への講師派遣・講義などを通じて、青少年への学びの機会を提供します。